

箕面は今後 10 年間何に力を入れて取り組むべきか？

箕面の魅力UPで憧れのまちに

THE 箕面

- ブランド(イメージ)戦略(澤田)
 - ・ブランド力が人を呼び込む
- 絞りこみによるイメージ戦略(全体での意見交換)
- 洗練された田舎づくり(澤田)
 - ・都市的要素と田舎的要素を兼ね備えている点が箕面を強みだと思える
- “らしさ”の追及(澤田)
 - ・長所を伸ばすことで全体を底上げできる

- 21世紀型の都市計画(前川)
 - ・公共交通網の拡充
 - ・自然環境を守る
 - ・コミュニティと居住地の再生計画
- いい意味での規制(自ら律する)(全体での意見交換)
- 自立と責任(全体での意見交換)

箕面に住んで良かった、箕面に住みたい(全体での意見交換)

品格のある街、品格のある人、品格のある子供(嶋田)

観光(福井)
・年間 120 万人を年間 500 万人に

あらゆる資源を総動員

- すべての“資源”の活用(Cグループ)
 - ・環境、文化、支え合い
- あるものを上手につかう(全体での意見交換)
- 観光資源のネットワーク化(全体での意見交換)
- 近隣市との相互連携(田中)
 - ・生活基盤の部分(医療、防災、交通、公共設備)
- 資源の活用 財政好転(全体での意見交換)
- あるものを戦略的に使う(全体での意見交換)
- 民で出来ることは民で(嶋田)

若い人がまちを元気にする

- 若い人たちが元気に活動するまち(木村)
 - ・若い人たちのいろいろな取り組みを支援する
- 若い世代が住みたくなるまちづくり(木村)
- 若い人がどんどん増える、来たがるまちづくり(全体での意見交換)

日本中の憧れのまち

- ほこれる街「箕面」を目指す(全国一をめざす箕面)(田中)
 - ・内容はこれから
 - ・子供に夢を
- 日本中からうらやましがられ、あこがれる箕面を作るう、磨きあげよう(嶋田)
- 子どもが夢を持つまち。誇れるまち(全体での意見交換)
- 全国に発信できる誇らしいまち(全体での意見交換)

箕面の宝を大切に

- 山の緑の保全(井西)
 - ・山間、山ろく部の動植物
 - ・景観
- 町(街)中の緑保全(佐藤)
- 箕面国定公園の自然と環境を死守する(田中)
 - ・次世代へ引継ぐ
- 自然の保全(藪木)
 - ・自然保全と新市街地の開発との両立をどのようにするか
- 自然環境を守る取り組み(橋本)
- 当市は山麓都市()
 - ・この山麓があるゆえ箕面があるあるといえる。第一に山麓保全を検討願いたい。あと5~10年を過ぎれば環境面で大きな問題が発生すると考える
- 箕面の宝(山、川)をもっと愛すること(嶋田)
- みどりの基本計画(上原)
 - ・山麓部、まち中(公共施設、公園、河川、学校、民有地)を分けて考える
- 自然を活用した特色ある取組(全体での意見交換)
- 山麓は荒れている。市民に知らせていく(全体での意見交換)
- 今までにない新しい形のキャンプ場づくり(岩重)

心のふれあう商店街の復活

- 地域活性化(地域間競争に備え)(森岡)
- 中心市街地の活性化(井原)
 - ・現在までの事業展開の流れを停滞させない
- 産業の活性化(吉田)
 - ・農業、商業
- 箕面市発行のお金をつくってはいかが(嶋田)
- 商工業の振興(渡辺)
 - ・とりわけ、商店街
- 人と人がつながれる事業の町(新居)
 - ・小さな商店などがもっと元気になる町づくりをしたい。買いものをするだけで人と人がふれあえる、人の顔が見える町の事業のあり方
- 市内業者の利用。市内での循環(全体での意見交換)

箕面は今後10年間何に力を入れて取り組むべきか？

人と人が関わり、人が育つ

向こう三軒両どなり

向こう3軒両どなりのおつきあい(戸島)

コミュニティの再生(木村)
・地域の人の顔が見えてコミュニケーションがとれる

・いきいき明るい安全で助け合いの街「箕面」をキャッチフレーズにする(田中)

人づくりがすべてのもと

元気な人づくり(岩重)
・友だち、趣味、日々の課題を持つ環境と投げかけ

生涯学習、文化教育(全体での意見交換)

人材育成・活用 協働の人材へ(全体での意見交換)

人づくり(全体での意見交換)

人材育成(渡辺)
・あらゆる分野

人の育成(森岡)
・学校教育、社会教育、...

担い手の育成(すべての分野での(森岡)
・人的資源の活用

小学校区毎にクラブ(岩重)
・運動、文化のクラブづくり(ドイツ・ヨーロッパ型の地域で豊かに過ごす)

教育環境の良い住宅都市

教育環境の充実(林下)
・経済環境の厳しい子どもへの支援を(スポーツ体験など)

住環境(川端)
・教育良

少子高齢化時代への対応(高山)
・魅力ある教育都市

コミュニティで子育てを

父子家庭、母子家庭の子どもたちの生活環境(釋)

子育てしやすい「箕面」(田中)
・地域で育てよう

子どもの育て方ももっともって考えよう(Bグループ)

子育ては市民全体の課題。4次総計よりもドライブをかけて(全体での意見交換)

住環境(川端)
・子育て良

子育て支援サービス(小林)
・国・市町村の役割の見直し

子どもに向きあった政策を(辻)
・育児、出産、教育

子育て - 地域で(全体での意見交換)

少子・高齢化対策(稲井)
・地域教育組織見直し(子供会、PTAなど)

子どもが安全で楽しく過ごせる

子どもが安全で楽しく過ごせる環境(橋本)

子どもが楽しく暮らせるまちづくり(藪木)
・子供の遊び場づくり
・子供や親が安心して暮らせる環境整備

公園の整備と管理(林下)
・幼児が安心して遊べる公園
・遊具などの管理

子どもが安全に暮らせるまち(木村)
・小さい子どもも親の付き添いがなくても安心して遊べる

・子供たちの安全を守るための人員と子供たちの健全な成長を見守り、モラルの高い子供たちになって欲しいと願う。親と教育者を橋わたしをしてくれる組織(有山)

子育て環境の整備(井西)
・ハード(学校、etc.)
・ソフト(子どもを守るとりくみ)

箕面は今後10年間何に力を入れて取り組むべきか？

環境を大切にして暮らす

地球環境を守るのは箕面から

地球環境問題への積極取組
(地球環境都市)(高山)
・エコ、ゴミ、公害、リサイクル、エネルギー、山麓・市街地緑化など

地球温暖化など災害リスク等
(前川)
・防災アセスの予防対策
・安全・安心(ハード、ソフト)
・大型より中小を多数へ

環境(森岡)

地球温暖化(稲井)
・脱・車社会の街

地球温暖化(稲井)
・持続可能な循環型社会

エネルギー・資源の節約
(まちぐるみで)(全体での意見交換)

緑豊かな住宅都市

住環境(川端)
・緑と水の多い景観

環境(福井)
・美しく安心安全
・子ども老人によい所
・産業なくともOK

地球環境温暖化対策(稲井)
・緑豊かな美しい街

箕面にふさわしい街並景観をつくる(田中)
・水と緑の街、近隣公園

まちに愛着をもってきれいにしよう(Bグループ)

緑と手入れの行き届いた広場(戸島)
・協働するまちづくり

少子高齢化時代への対応(高山)
・土地利用の見直し

マイカーやめても、すいすい動ける

コミュニティバスの導入(西川)
・Mバスをもっと小回りのきくバス路線に

市内の公共交通(神崎)
・Mバスのあり方(継続、廃線など)については、利用者である市民とじっくり協議すべき

移動のしやすいまちづくり(戸島)

公共交通の充実(小林)
・主要都市へのアクセスが不便なので

公共交通の充実(渡辺)
・特に東西間

・地球環境のためにも一人一台の車を利用するより公共交通を充実させ市民が便利に使えるシステムを作って欲しい(田中)

違法駐車を取り締まり(渡辺)

市内循環バス(佐藤)
・公共交通網の充実

人にやさしい町づくり(新居)
・車に乗らなくても、歩きや自転車で活動する環境を整える。もちろん車いすも。バリアフリーや緑化スペースの拡大。車両制限地区もつくりたい

少子高齢化時代への対応(高山)
・地下鉄延長と船場再開発

箕面は今後 10 年間何に力を入れて取り組むべきか？

すべての人に安心を

「愛」は心を受けること

外国人市民との共生(小林)

- ・外国人市民が増加
- ・多文化共生社会

文化的なまち(木村)

- ・いろいろな文化が尊重されるまち

- 多様性を受け入れる土壌(全体での意見交換)

文教、国際化都市「箕面」をめざす(田中)

- ・イメージ、内容は今後

人権を大切にする街へ(新居)

- ・ひとりひとりが違いを認めあえる街づくり。男女差別や障害者差別やいじめや様々なしんどい思いをした人がきちんと声をあげることができ、そのようなことを解決していく検討会等のシステムづくり

障がいのある方がいきいきと働ける

弱者の人が主人公となれる町(新居)

- ・障害者や高齢者や働きにくさをかかえた人などが、単に福祉サービスの受け手ではなく、サービスを生み出す主体としてコミュニティビジネスに積極参加できる町

- 障害のあるかたの就労(橋本)

- 障がい者福祉への理解(求人断られる例あり)(全体での意見交換)

安心して子どもを産み、育てられる医療サービスを受けたい

産科医療の充実(林下)

- ・市立病院の産科の充実

医療サービス(釋)

- 高度医療をいつでも受けられる安心(岩重)

- 高齢者医療(全体での意見交換)

地域医療の見直し(充実)(田中)

- ・特に医師不足
- ・夜間緊急医療体制

医療従事者人口の維持(特に小児科、産科、外科)(有山)

- ・市立病院で確保した人員を、地域開業との連携をしてもらい、地に根ざした医療従事者として成長してもらいたいと思う。地域開業の際には、医療器具の引きつぎや市よりの援助があるといい

歩いて健康、医者要らず

- 健康づくりに多くの市民が取り組んでいるまち(川端)

- 健康予防の高いみのお(岩重)
- ・病気に罹らない体力増進を計るチャンスがいつも得れる

- 高齢者への筋トレ施設(岩重)
- ・寝たきりにならぬよう！出かけたついでに出来るような施設にして

- 他市に比べて遅れている体育行政を上げる(岩重)
- ・スポーツ施設、指導員

- 山道の整備(岩重)
- ・健康ハイキングが気持ち良く出来る

- 健康散策ハイキング(全体での意見交換)

- 歩道の整備(西川)
- ・歩くことは健康で過ごすための一方策。そのしくみづくりを

- 住環境(川端)
- ・北摂の山と健康づくり

安心して、齢がとれる

- 少子高齢化時代への対応(高山)
- ・少子高齢化福祉対策

- 福祉と教育を守る
- ・予算を減から増へ

- 高齢者が住みやすいまち(西川)
- ・消費税率の引き上げ、無年金者の方々、健康保険制度の改正 住みにくい条件が山積み

- 高齢者福祉サービス(小林)
- ・団塊の世代の10年後

- 高齢者医療、介護サービスの箕面方式の創設(田中)
- ・チーム形態(医師機会、ケアマネ、訪問介護、家族の連携)

- ・老人、障害者の福祉は、民間、隣人にまかせるのではなく行政が責任を持ってやってほしい(岡崎)

箕面は今後10年間何に力を入れて取り組むべきか？

市民がまちづくりの主人公

市民がまちをつくる

市民が主体の持続可能な「まちづくり」～箕面(吉田)

市民の本当の力を引き出さないといけません(嶋田)

街が汚いね(嶋田)
・箕面市は住民の町。とにかく美しいまちにしよう!

地域の組織の活性化(井西)
・地縁団体、PTA、子ども会、NPOのネットワーク、情報交換

NPO(市民参加)の質・量の向上(渡辺)

市民活動が活発なまち(井西)
・NPOが増える
・ボランティアが増える

どんなことでも協働します

市民協働・市民参加「市民による市民のための行政」(五藤)
・形式的な市民参加ではなく、実質的な市民参加
・計画決定、実践、フォローアップまでの市民協働

市民参加、市民主体の市民組織の充実(吉田)

協働の推進(森岡)

市民自らが行政事業の一端を担う。補完性の原則

市民参加の町(新居)
・教育やくらしなど人と人が協力、協働することが、お互いの違いを認め認識しながらもつuckingいける町の文化を育てること

住民自治都市の確立(高山)
・自治基本条例
・学区別コミュニティの確立
・市民参画方法の確立(NPO、団体の組織化)
・協働のシステム化、拡大

参加を得るための特別なしかけ、広報が必要(全体での意見交換)

市民がまちづくりに参画し易いまち(川端)

市と市民との情報共有(佐藤)

箕面自治基本条例を(前川)

すべての分野での市民参加(全体での意見交換)

自主的市民組織(自立した)(稲井)
・協働の市民社会

協働と選択(小林)
・制度・システムの見直し

市民の声がよく届く

市民の意見が市政に反映されるシステムを作る(岡崎)

市民会議の地位向上

個別課題への対応(五藤)
・市民会議参加市民の個別課題への対応(軽視しない)

市民参加(上原)
・市民を交えた会議、交流会、イベント企画、意見募集 各課の政策へ反映

市民が主体的に取り組む体制(全体での意見交換)

シンクタンク、コーディネーターとしての市民会議(全体での意見交換)

市民の声が直接届く(全体での意見交換)

市民会議の地位向上・PR(まだ代表性なし)(全体での意見交換)

いくつになってもお役に立ちます

高齢者の方が気軽に活動できる場(橋本)

少子・高齢化対策(稲井)
・互いに支えあえる街の仕組み作り

高齢者がいきいきと暮らせるまち(木村)
・独居老人でもいろいろなサポートができています

高齢化社会の到来(藪木)
・高齢者にとって住みやすいまちづくり

老人力の活用をもっともっと考えよう(嶋田)

自分のまちは自分で守ろう

災害に強いまちづくり(橋本)

狭い道の解消(西川)
・狭い道が救急活動の妨げ
・建築物の建替え時に強制的に道幅を広げる

地域防災組織の確立(西川)
・市役所まかせでは災害から家族・地域を守れない

犯罪がなくなるための取り組み(橋本)

地域防災、防犯、災害体制の強化(田中)
・自主防災組織率、防災マップ

防災 - 自主防災(全体での意見交換)

消防団の充実(林下)
・高齢化、サラリーマン化で団員数が減少

住環境 安全なまち(川端)

市役所にもっと経営感覚を

総合計画は箕面の大黒柱

- 総合的な取り組み(全体での意見交換)
- 総合的に取り組む。市民共有の指標(全体での意見交換)
- 総計と個別計画整合性(Cグループ)
- 総合力を発揮できる仕組み、計画を考えよう(全体での意見交換)
- ゴールのイメージ。優先順位(全体での意見交換)
- 10年の重点を決める(全体での意見交換)

たくさんの公共施設のこれから・・・

- 老朽化した公共財対策(前川)
 - ・維持管理や更新の重視
 - ・横断的な総合対策の推進
 - ・市財政プランの確立
- 低未利用の公共施設及び用地の利活用(井原)
 - ・まちづくりと連携した利活用
 - ・土地売却や賃貸借などの検討
- 箱物不要(林下)
 - ・この10年で出来たものの管理
 - ・歴史に残るものであってほしい
- 市財政の健全化(井西)
 - ・公共施設の再編？
- 公共財の劣化への対応(全体での意見交換)

財政再建待ったなし

- 行財政改革「財政不安のないまち箕面」(五藤)
 - ・一層の財政基盤の強化
 - ・行政改革
 - ・市民も痛みを分け合う改革
- 金を使わないで知恵をもっともって使いましょう(嶋田)
- 健全財政の確保(高山)
 - ・行政革新(市機能の再編、見直し)
 - ・収益事業の検討
 - ・予算の見直し
- 税金に見合ったサービスの提供をしよう、お役所さん(嶋田)
- 収入にみあった支出で市が運営出来るようにしよう(嶋田)
- 小さな行政組織にしたいね(嶋田)
- 行財政
 - ・アウトソーシングには公募制を
 - ・公共工事など市内業者に
- 財政の健全化(渡辺)
 - ・無借金経営へ
- 科学的な市政運営(前川)
 - ・計画と実行を数値
 - ・検証を事実をもとに
- 行財政改革(澤田)
 - ・夢を実現するためには平行して改革も必要
- 800件の条例。これをへらすことを検討しましょう(嶋田)
- 市の財政問題(佐藤)
- 行財政改革(浜)
 - ・市民職員(半官半民、ボランティア)
 - ・助役は市民公募
 - ・シンクタンク
- 健全財政にしてほしい。借金はなくして身の丈にあった暮らしを(岡崎)